

町政を問う！



一般質問

一般質問は、議員が町政全般について現状や方針を問うものです
1人あたりの持ち時間は答弁を含めて60分です

9月7日

8人の議員が質問

インターネット
中継はコチラから



掲載している内容は質問者自身が要約し、広報編集委員会が校正したものです。議事録は、12月上旬に町ホームページに掲載します。

9月定例会・一般質問

豊山配水場の有効活用は

令和3年3月の測定後、毎年、有機フッ素化合物・PFAS（ピーファス）の値は測定され、国の基準値を下回っている。再稼働するのがベターではないか。熊本地震では、水道の断水が被災者の一番の問題との報道であった。北名古屋水道企業団で、あらためて「配水場施設等更新計画」を再検討して頂きたい。



熊沢 直紀 議員
KUMAZAWA Naoki

豊山配水場（井戸）はPFASの値が基準値外のため停止中であるが、今後、どうするのか。

PFAS測定値	
測定時期	ng/L
令和4年3月	38
令和4年8月	40
令和5年2月	33
令和5年8月	30
令和6年2月	49
令和6年8月	33
令和7年2月	22
令和8年2月	26

北名古屋水道企業団の運営に関することではあるが、わが町の非常時の水道に関わる問題であるので、あえて質問する。豊山配水場はPFASが175ng/L検出されたため、現在、停止中であるが、今後も取水停止を継続する考えなのか、それとも、PFAS対策を講じたうえで、将来的に再び水源として活用することを検討しているのか。また、再び取水が可能となるためには、どのような対策や設備が必要となり、そのために、どの程度の費用が想定されるのか。

北名古屋水道企業団では、令和4年度に策定した「配水場施設等更新計画」に基づき、現在、豊山配水場、師勝配水場と中央配水場の3つの配水場の機能を中央配水場へ統合する事業を進めている。PFAS対策を講じたうえで、豊山配水場を再び水源として活用する予定はなく、今後も取水停止を継続し、中央配水場への機能統合を進めて行く方針であると確認した。

再び水源として使用するには、令和3年度の調査では、設備の整備に係る初期費用として、約2億円、また、設備の運転や維持管理に係る費用として、年間数千万円程度見込まれる。

